

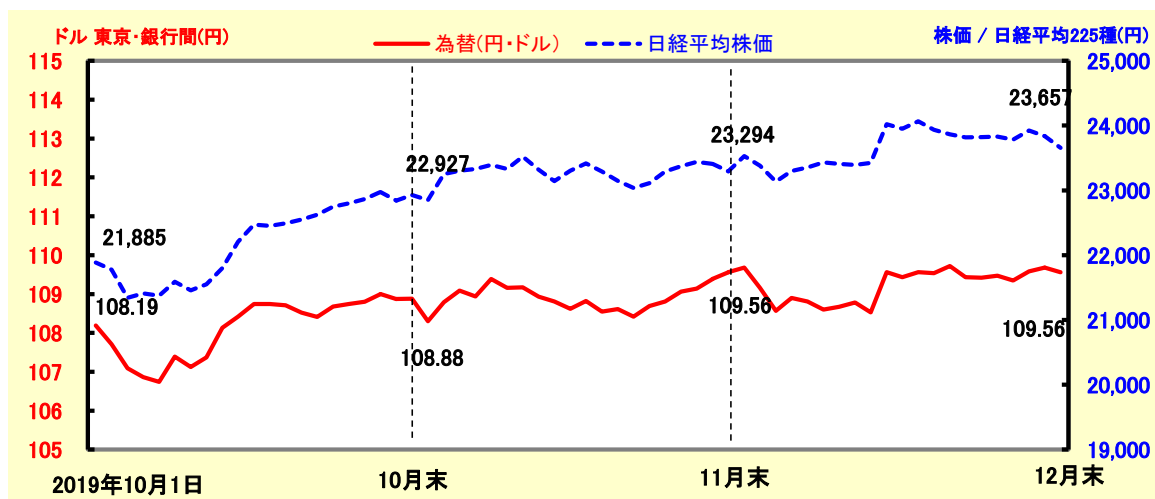
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2019年10月～12月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2019年10～12月期の業況/2020年1～3月期の業況予想

今回の調査実施時期

2019年12月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	60先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	17先

調査方法

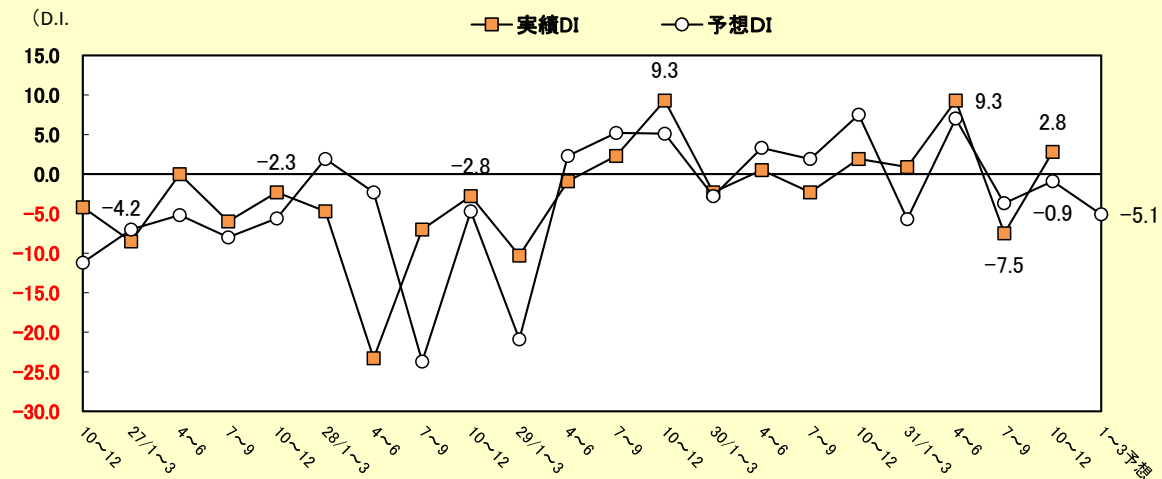
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



		10~12月期実績				1~3月期予想			
		総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総 合	合								
		2.8	▲ 6.7	14.3	0.0	▲ 5.1	▲ 20.9	9.5	0.0
製 造 業									
		0.0	▲ 6.2	0.0	10.0	0.0	0.0	▲ 40.0	20.0
小 売 業									
		0.0	▲ 4.0	0.0	12.5	▲ 13.3	▲ 30.7	3.8	▲ 12.5
卸 売 業									
		▲ 4.0	▲ 22.2	0.0	16.6	▲ 20.0	▲ 44.4	▲ 20.0	16.6
サ ー ビ ス 業									
		3.3	▲ 17.8	28.5	▲ 25.0	▲ 8.3	▲ 35.7	21.4	▲ 25.0
建 設 業									
		13.6	40.0	22.2	▲ 12.5	13.6	20.0	33.3	▲ 12.5
不 動 産 業									
		11.7	14.2	33.3	▲ 25.0	23.5	28.5	33.3	0.0

10月~12月の県内経済概況

10月~12月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは2.8となり、前期比10.3ポイント上昇となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は0.0となり、前期比19.3ポイント上昇、小売業は0.0となり、前期比13.5ポイント上昇、卸売業は▲4.0となり、前期比4.0ポイント下降、サービス業は3.3となり、前期比16.6ポイント上昇、建設業は13.6となり、前期比4.5ポイント下降、不動産業は11.7となり、前期と水準となっています。

地域別では、別府地区が▲6.7となり、前期比10.0ポイント上昇、大分地区が14.3となり、前期比16.7ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比2.6ポイント下降となっています。

業 種 別 景 況

製 造 業

● 当期(10月～12月)の景況

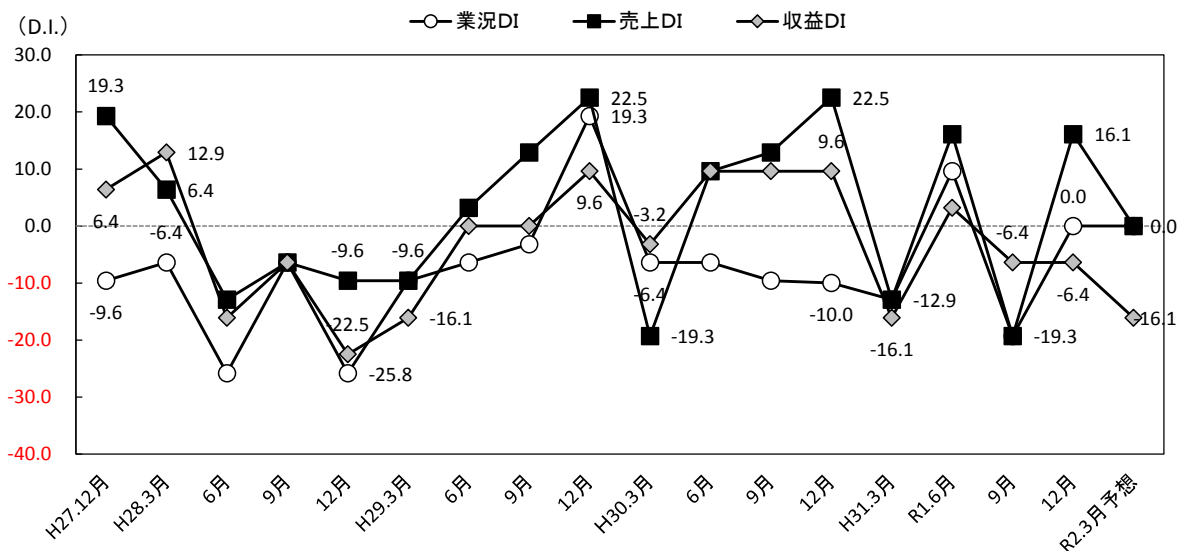
全域における業況DIは0.0となり、前期比19.3ポイント上昇、前年同期比10.0ポイント上昇となっています。売上DIは16.1となり、前期比35.4ポイント上昇、前年同期比6.4ポイント下降となっています。収益DIは6.4となり、前期比16.0ポイント上昇、前年同期比9.7ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲6.2となり、前期比37.5ポイント上昇、前年同期比20.4ポイント上昇、大分地区が0.0となり、前期と同水準、前年同期と同水準、県北地区が10.0となり、前期と同水準、前年同期と同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期と同水準となっています。売上予想DIは0.0となり、今期比16.1ポイント下降となっています。収益予想DIは▲16.1となり、今期比9.7ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が▲40.0、県北地区が20.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	15.4%
人手不足	14.0%
同業者間の競争激化	9.8%
原材料高	8.4%
工場・機械の狭小・老朽化	7.0%

最重要経営施策

販路拡大	19.1%
経費節減	17.6%
人材確保	13.2%
特になし	7.3%
提携先探す	7.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- 大手コンビニとの大型契約が決まれば、売上が大幅に上がり、経営が少し楽になる。(高菜)
- 業況良好(自動車部品)
- 令和2・3年まで受注の見通しは立っているが、その後は日中貿易摩擦の影響による景気の先行きが不透明なことから大手製造業が投資を先送りする見通し。4月以降、受注が減少に転じる可能性あり。(大型金属製品)
- 消費税増税後、仕入等で軽減税率が適応されない部分は売価に転嫁できておらず、収益を圧迫することとなっている。(豆腐・油揚げ)
- 後継者不足に伴い、事業の今後について検討を重ねている。(和菓子・パン製造販売)
- 受注などしっかりしているため販路拡大すれば売上げ増加を見込める。(竹)

小 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

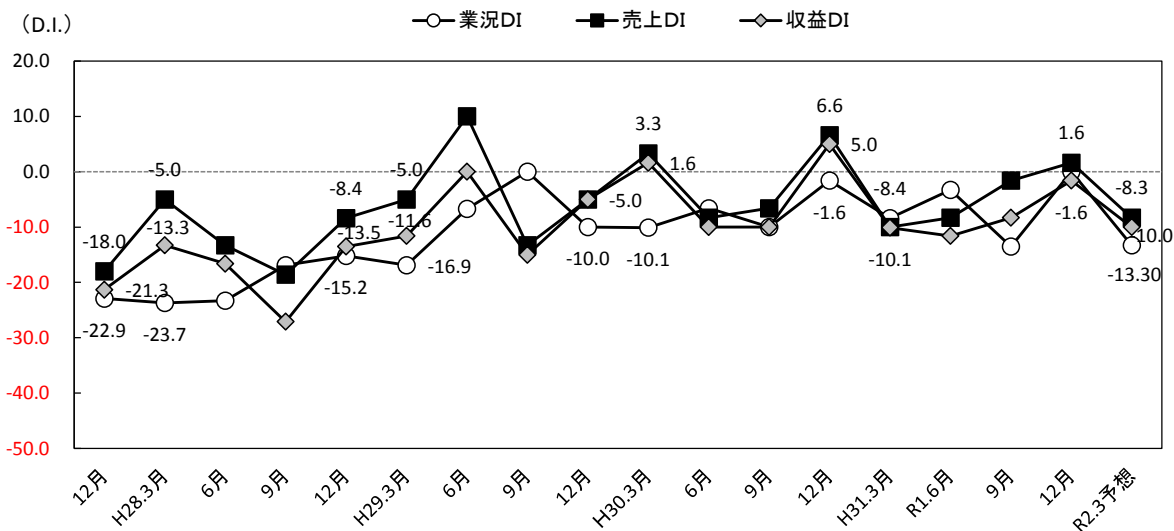
全域における業況DIは0.0となり、前期比13.5ポイント上昇、前年同期比1.6ポイント上昇となっています。売上DIは1.6となり、前期比3.2ポイント上昇、前年同期比5.0ポイント下降となっています。収益DIは▲1.6となり、前期比6.7ポイント上昇、前年同期比6.6ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲4.0となり、前期比8.0ポイント上昇、前年同期比7.8ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比15.3ポイント上昇、前年同期比7.6ポイント上昇、県北地区が12.5となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比12.5ポイント上昇となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲13.3となり、今期比13.3ポイント下降となっています。売上予想DIは▲8.3となり、今期比9.9ポイント下降となっています。収益予想DIは▲10.0となり、今期比8.4ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲30.7、大分地区が3.8、県北地区が▲12.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	21.1%
大型店競争激化	15.4%
取引先減少	9.7%
人手不足	8.1%
同業者間の競争激化	7.3%

最重要経営施策

経費節減	51.1%
品揃え改善	51.1%
売筋商品取扱	34.8%
仕入先開拓・選別	25.5%
宣伝・広告強化	20.9%

経営者のみなさまの主なコメント

- 売上は前月並みに推移しているが、人手不足が相変わらず課題である。(飲食料品店)
- 気候変動などにより売上げはやや減少傾向。(茶屋)
- 売上は平年並み、事業承継は業務多忙のためなかなか進まない。(家電製品)
- 学生用品販売業として、今後の少子化の加速が一番の懸念点になる。(学生服)
- 自動車販売は安定している。(自動車販売業)
- 若い世代のオートバイ購入の減少により売上も減少。今後は品ぞろえの改善経費節減に取り組む。(オートバイ・2輪)
- キャッシュレスやポイント還元制度を積極的に導入し集客に努めている。(パン販売)
- 店舗近隣に安価なディスカウントストアが新規出店したことで売上は減少したが、地元住民からは根強い支持を受けている。(飲食料品)
- インターネット及び電子書籍の普及により販売部数は年々減少傾向にある。10月からの消費税増税後の影響はそれ程ない。(書籍販売)
- 消費者ニーズの変化、コンビニ販売の台頭により需要は減少傾向にある。地場大手葬祭場への納入については競合も多く利益率も低い。高齢者施設への積極営業により販路拡大を目指している。(お茶)
- 消費税の増税については精肉以外の仕入(包装・パッケージ等)に多少影響している。現在の営業形態では経営そのものに限界があると感じており、自社の精肉に特化した2次的な事業展開を検討中である。(精肉類)

卸 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

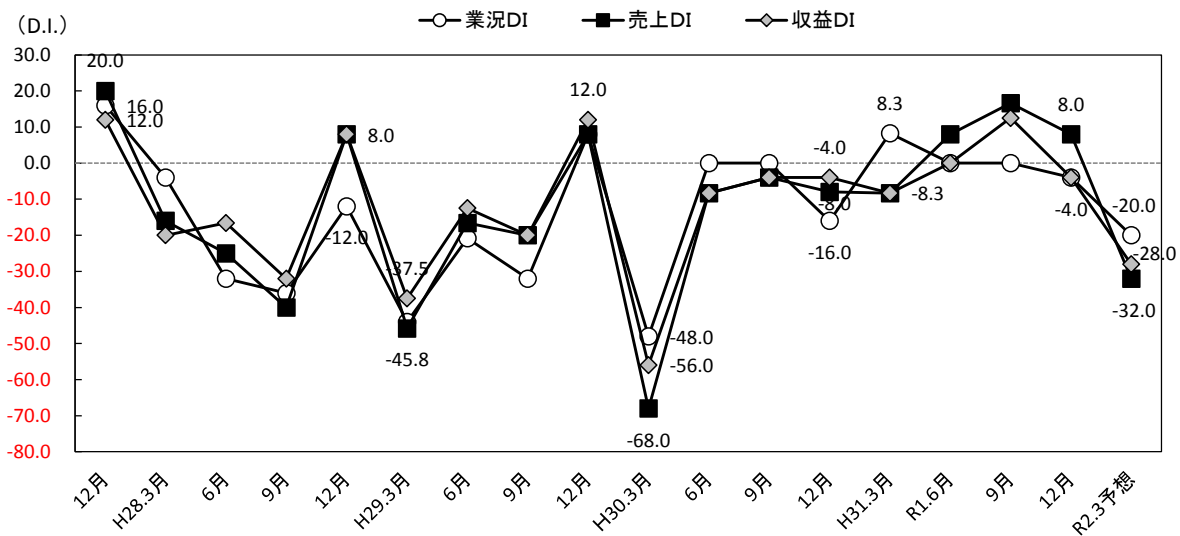
全域における業況DIは▲4.0となり、前期比4.0ポイント下降、前年同期比12.0ポイント上昇なっています。売上DIは8.0となり、前期比8.6ポイント下降、前年同期比16.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲4.0となり、前期比16.5ポイント下降、前年同期と同水準となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲22.2となり、前期比22.2ポイント下降、前年同期比11.1ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比10.0ポイント上昇、前年同期比30.0ポイント上昇、県北地区が16.6となり、前期比3.4ポイント下降、前年同期比16.6ポイント上昇となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲20.0となり、今期比16.6ポイント下降となっています。売上予想DIは▲32.0となり、今期比40.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲28.0となり、今期比24.0ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲44.4、大分地区が▲20.0、県北地区が16.6となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	16.9%
同業者間の競争激化	16.9%
人手不足	13.2%
取引先減少	11.3%
利幅縮小	9.4%

最重要経営施策

販路拡大	30.2%
経費節減	18.6%
情報力強化	11.6%
品揃えの充実化	9.3%
人材確保	9.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- 増税の影響はなし。業況は安定推移する見込み。(土産品)
- 従業員の年齢層が上がっているため、次の人材を確保し育てないといけないが、人件費等を考えると難しい。(壁紙・クロス)
- 人手不足の影響で仕事の受注量にも限界がある。(建築材料)
- 高齢であり、今後事業について考えている。(青果物卸売)
- 今年度自社の不動産売却を行い、債務圧縮を図った。(木材販売)
- 増税のタイミングで売上が増加したが以降は停滞中。小売店も在庫を抱えている。今後は平年並みとなる見込み。(日用品卸)

サービス業

● 当期(10月～12月)の景況

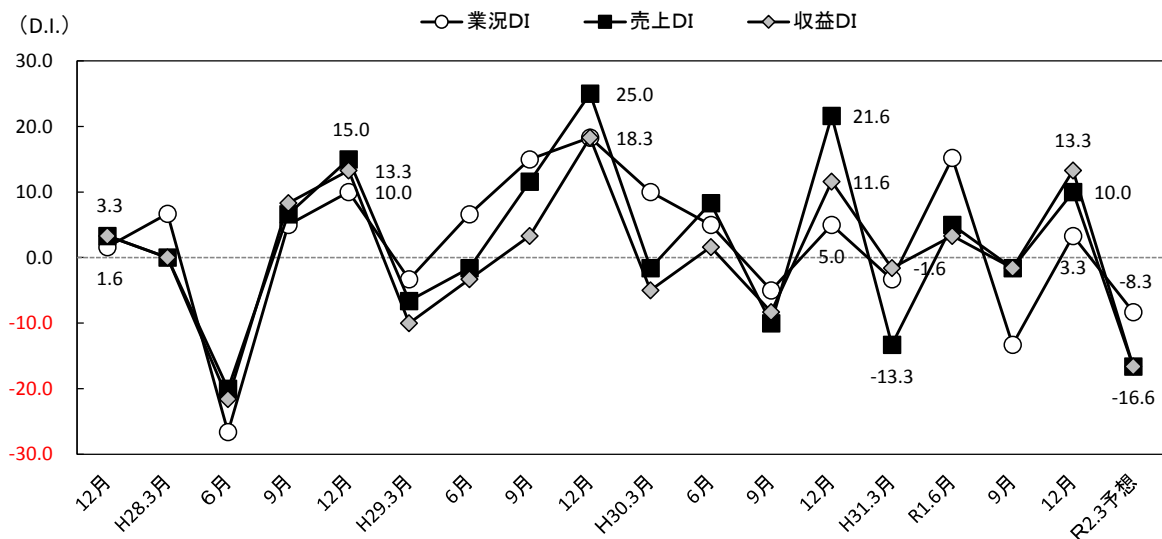
全域における業況DIは3.3となり、前期比16.6ポイント上昇、前年同期比1.7ポイント下降となっています。売上DIは10.0となり、前期比11.6ポイント上昇、前年同期比11.6ポイント下降となっています。収益DIは13.3となり、前期比14.9ポイント上昇、前年同期比1.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲17.8となり、前期比10.7ポイント上昇、前年同期比17.8ポイント下降、大分地区が28.5となり、前期比28.5ポイント上昇、前年同期比14.3ポイント上昇、県北地区が▲25.0となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期と同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲8.3となり、今期比11.6ポイント下降となっています。売上予想DIは▲16.6となり、今期比26.6ポイント下降となっています。収益予想DIは▲16.6となり、今期比29.9ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲35.7、大分地区が21.4、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点

人手不足	21.4%
同業者間の競争激化	15.7%
売上停滞・減少	13.2%
人件費増加	8.2%
材料価格の上昇	6.6%

最重要経営施策

販路拡大	18.2%
経費節減	17.4%
人材確保	14.2%
宣伝・広告強化	10.3%
店舗・設備改装	7.9%

経営者のみなさまの主なコメント

- 人気商品は学生をはじめ地元住民の固定ファンが根強く、例年並みに推移している。(食品販売)
- ラグビーW杯により売上は大幅な増加となったが、クレジット等のキャッシュレス支払いにより、運転資金に支障をきたした。(宿泊業)
- 取引の長い顧客が多いが、顧客の高齢化や商業圏内の人口減少が売上高に影響している。(理髪サービス)
- 売上増加策として、新商品の開発を行っている。(レストラン)
- 増税後も値上げしておらず、大きな変化はない。(観光施設の運営)
- ラグビーワールドカップなどの国際イベントの効果もあり、客足は良好。今後もオリンピック等が控えており見通しは明るい。(うどん・そば店)
- 現況は堅調に推移、安定している。(医療・保険・福祉)
- 8月に比べ回復傾向にある。1月以降も平年並みの売上の見通しである。(クリーニング)
- 東日本豪雨の影響で例年以上にいちごが値上がりし、仕入れができない。(菓子製造業)
- 人手不足が続いている。(ビルメンテナンス)

建設業

● 当期(10月～12月)の景況

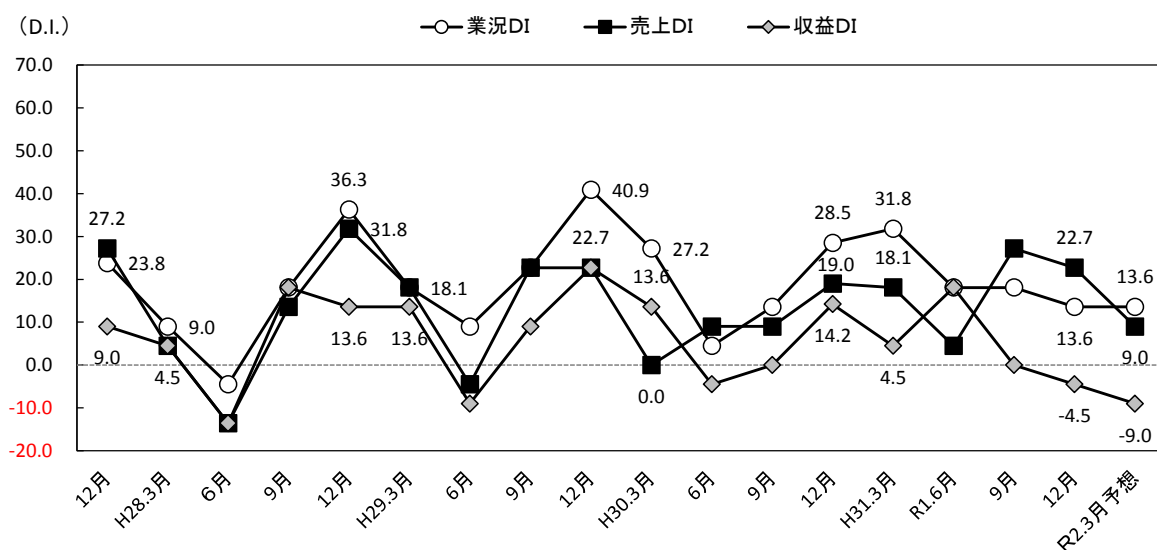
全域における業況DIは13.6となり、前期比4.5ポイント下降、前年同期比14.9ポイント下降となっています。売上DIは22.7となり、前期比4.5ポイント下降、前年同期比3.7ポイント上昇となっています。収益DIは▲4.5となり、前期比4.5ポイント下降、前年同期比18.7ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が40.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期と同水準、大分地区が22.2となり、前期と同水準、前年同期と同水準、県北地区が▲12.5となり、前期と同水準、前年同期比41.0ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは13.6となり、今期と同水準となっています。売上予想DIは9.0となり、今期比13.7ポイント下降となっています。収益予想DIは▲9.0ポイントとなり、今期比4.5ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が20.0、大分地区が33.3、県北地区が▲12.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	30.7%
同業者間の競争激化	21.1%
材料価格の上昇	13.4%
下請の確保難	9.6%
利幅縮小	7.6%

最重要経営施策

人材確保	29.1%
経費節減	25.0%
販路拡大	14.5%
技術力向上	12.5%
情報力強化	6.2%

経営者のみなさまの主なコメント

- 消費税増税により、材料費が上がってしまい苦慮している。また、昨年同時期に比べて収益が少しかけ減少した。(建築工事業)
- 業況変化なし。(屋根工事業)
- 工事の受注は安定しており業況は堅調に推移している。今後も安定推移する見込みであり、業況に懸念はない。(木造建築工事)

不 動 産 業

● 当期(10月～12月)の景況

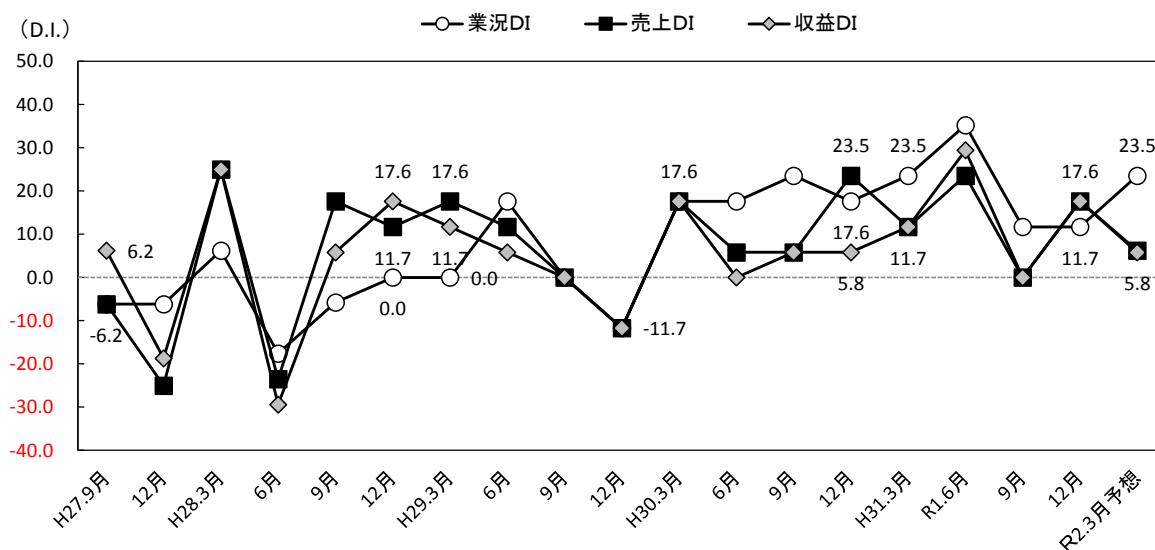
全域における業況DIは11.7となり、前期と同水準、前年同期比5.9ポイント下降となっています。売上DIは17.6となり、前期比17.6ポイント上昇、前年同期比5.9ポイント下降となっています。収益DIは17.6となり、前期比17.6ポイント上昇、前年同期比11.8ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が14.2となり、前期比14.2ポイント上昇、前年同期と同水準、大分地区が33.3となり、前期比16.7ポイント上昇、前年同期と同水準、県北地区が▲25.0となり、前期比50.0ポイント下降、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは23.5となり、今期比11.8ポイント上昇となっています。売上予想DIは6.2となり、今期比11.4ポイント下降となっています。収益予想DIは5.8となり、今期比11.8ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が28.5、大分地区が33.3、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

商品物件不足	26.9%
同業者間の競争激化	19.2%
売上停滞・減少	15.3%
利幅縮小	11.5%
問題なし	7.6%

最重要経営施策

情報力強化	27.5%
販路拡大	27.5%
宣伝・広告強化	17.2%
経費節減	10.3%
特になし	6.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 南大分地区の不動産業は活発であり業況は良好であるが2021年以降の景気を不安視している。(不動産売買仲介業)
- 不動産を積極的に仕入れし、分譲開発等を進めている。人気エリアの別件を分譲しており来年以降の見通しは明るい。(不動産業)
- 地元の情報誌などを利用して宣伝を図っている。自社の業況については流動的に推移している。(不動産業)
- 資金調達には難しさを感じていない。(売買業・仲介業)
- 消費税増税前の駆け込み需要もそれ程なかった。オリンピック特需についても地方への波及効果は少ないと考える。仲介物件については別府市内全般に過剰気味であり収益物件については絶対数が不足している。(不動産業)
- 販売計画は順調に推移している。(建売土地売買)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	2.8	0.0	0.0	△ 4.0	3.3	13.6	11.7
	1月～3月予想	△ 5.1	0.0	△ 13.3	△ 20.0	△ 8.3	13.6	23.5
売 上	10月～12月実績	10.2	16.1	1.6	8.0	10.0	22.7	17.6
	1月～3月予想	△ 9.3	0.0	△ 8.3	△ 32.0	△ 16.6	9.0	6.2
受 注 残	10月～12月実績	13.2	6.4	***	***	***	22.7	***
	1月～3月予想	5.7	3.2	***	***	***	9.0	***
施工高	10月～12月実績	27.3	***	***	***	***	27.2	***
	1月～3月予想	9.1	***	***	***	***	9.0	***
収 益	10月～12月実績	2.8	△ 6.4	△ 1.6	△ 4.0	13.3	△ 4.5	17.6
	1月～3月予想	△ 13.5	△ 16.1	△ 10.0	△ 28.0	△ 16.6	△ 9.0	5.8
販売価格	10月～12月実績	12.7	12.9	10.0	4.0	16.9	19.0	11.7
	1月～3月予想	3.5	6.4	5.0	4.0	0.0	9.5	△ 5.8
仕入価格	10月～12月実績	17.8	16.1	11.6	12.0	25.4	31.8	5.8
	1月～3月予想	8.4	0.0	5.0	12.0	10.1	18.1	11.7
在庫	10月～12月実績	△ 1.3	△ 9.6	△ 1.6	4.0	***	0.0	5.8
	1月～3月予想	△ 5.2	0.0	△ 5.0	0.0	***	0.0	△ 29.4
資金繰り	10月～12月実績	△ 6.5	△ 16.1	△ 23.3	4.0	3.3	13.6	△ 5.8
	1月～3月予想	△ 9.3	△ 16.1	△ 25.0	4.0	△ 3.3	4.5	0.0
残業時間	10月～12月実績	△ 2.3	△ 12.9	△ 5.0	4.0	0.0	0.0	5.8
	1月～3月予想	△ 24.8	△ 25.8	△ 10.0	△ 16.0	△ 33.3	△ 47.6	△ 29.4
人手状況	10月～12月実績	△ 5.6	△ 9.6	0.0	△ 8.0	△ 8.3	△ 4.7	△ 5.8
	1月～3月予想	△ 24.3	△ 25.8	△ 8.3	△ 20.0	△ 36.6	△ 42.8	△ 17.6

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	△ 6.7	△ 6.2	△ 4.0	△ 22.2	△ 17.8	40.0	14.2
	1月～3月予想	△ 20.9	0.0	△ 30.7	△ 44.4	△ 35.7	20.0	28.5
売 上	10月～12月実績	7.7	18.7	3.8	0.0	△ 3.5	40.0	28.5
	1月～3月予想	△ 16.5	△ 12.5	△ 23.0	△ 55.5	△ 17.8	40.0	14.2
受 注 残	10月～12月実績	23.8	12.5	***	***	***	60.0	***
	1月～3月予想	9.5	△ 6.2	***	***	***	60.0	***
施工高	10月～12月実績	40.0	***	***	***	***	40.0	***
	1月～3月予想	40.0	***	***	***	***	40.0	***
収 益	10月～12月実績	4.4	0.0	7.6	△ 22.2	7.1	0.0	28.5
	1月～3月予想	△ 14.3	△ 18.7	△ 15.3	△ 33.3	△ 14.2	0.0	14.2
販売価格	10月～12月実績	9.9	18.7	15.3	△ 11.1	10.7	0.0	0.0
	1月～3月予想	1.1	6.2	7.6	11.1	△ 7.1	0.0	△ 14.2
仕入価格	10月～12月実績	14.3	18.7	11.5	△ 11.1	21.4	40.0	0.0
	1月～3月予想	5.5	△ 6.2	3.8	11.1	10.7	40.0	△ 14.2
在庫	10月～12月実績	△ 3.2	△ 12.5	△ 7.6	22.2	***	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 6.3	0.0	△ 11.5	11.1	***	0.0	△ 28.5
資金繰り	10月～12月実績	△ 16.5	△ 18.7	△ 38.4	11.1	△ 7.1	0.0	△ 14.2
	1月～3月予想	△ 22.0	△ 18.7	△ 46.1	0.0	△ 14.2	0.0	△ 14.2
残業時間	10月～12月実績	△ 5.5	△ 12.5	△ 7.6	11.1	△ 10.7	0.0	14.2
	1月～3月予想	△ 19.8	△ 12.5	△ 15.3	0.0	△ 28.5	△ 40.0	△ 28.5
人手状況	10月～12月実績	△ 8.9	△ 12.5	0.0	△ 11.1	△ 17.8	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 23.3	△ 18.7	△ 15.3	△ 11.1	△ 32.1	△ 50.0	△ 28.5

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	14.3	0.0	0.0	0.0	28.5	22.2	33.3
	1月～3月予想	9.5	△ 40.0	3.8	△ 20.0	21.4	33.3	33.3
売 上	10月～12月実績	17.9	40.0	3.8	10.0	25.0	22.2	33.3
	1月～3月予想	△ 6.0	0.0	△ 3.8	△ 10.0	△ 17.8	22.2	0.0
受 注 残	10月～12月実績	14.3	20.0	***	***	***	11.1	***
	1月～3月予想	0.0	0.0	***	***	***	0.0	***
施工高	10月～12月実績	22.2	***	***	***	***	22.2	***
	1月～3月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	10月～12月実績	9.5	20.0	△ 11.5	0.0	25.0	11.1	33.3
	1月～3月予想	△ 13.1	△ 40.0	△ 11.5	△ 20.0	△ 17.8	11.1	0.0
販売価格	10月～12月実績	19.5	20.0	7.6	10.0	25.9	37.5	33.3
	1月～3月予想	3.6	0.0	3.8	0.0	3.7	12.5	0.0
仕入価格	10月～12月実績	19.3	0.0	11.5	30.0	25.9	22.2	16.6
	1月～3月予想	8.4	0.0	3.8	20.0	7.4	0.0	33.3
在庫	10月～12月実績	0.0	0.0	3.8	△ 10.0	***	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 5.4	20.0	0.0	△ 10.0	***	0.0	△ 50.0
資金繰り	10月～12月実績	3.6	△ 20.0	△ 11.5	△ 10.0	18.5	33.3	0.0
	1月～3月予想	2.4	△ 20.0	△ 7.6	0.0	7.4	22.2	16.6
残業時間	10月～12月実績	6.0	20.0	0.0	△ 10.0	10.7	22.2	0.0
	1月～3月予想	△ 29.5	△ 80.0	0.0	△ 30.0	△ 42.8	△ 44.4	△ 50.0
人手状況	10月～12月実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	△ 16.6
	1月～3月予想	△ 28.6	△ 80.0	0.0	△ 30.0	△ 46.4	△ 33.3	△ 16.6

県北地区

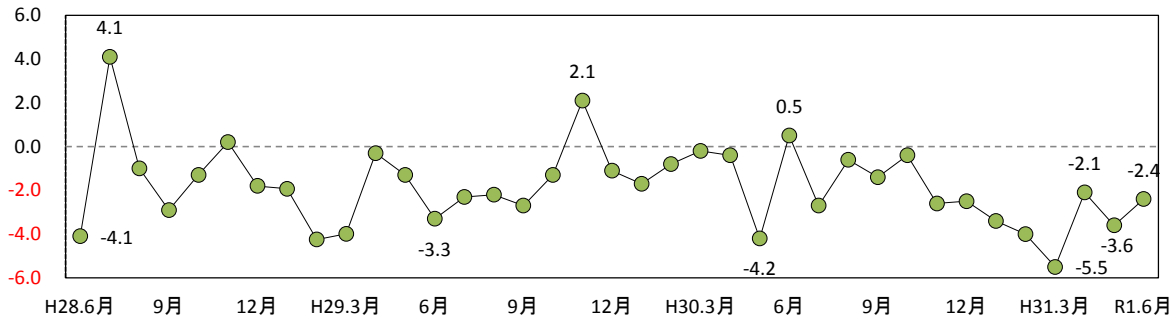
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	0.0	10.0	12.5	16.6	△ 25.0	△ 12.5	△ 25.0
	1月～3月予想	0.0	20.0	△ 12.5	16.6	△ 25.0	△ 12.5	0.0
売 上	10月～12月実績	0.0	0.0	△ 12.5	16.6	0.0	12.5	△ 25.0
	1月～3月予想	0.0	20.0	25.0	△ 33.3	0.0	△ 25.0	0.0
受 注 残	10月～12月実績	0.0	△ 10.0	***	***	***	12.5	***
	1月～3月予想	5.6	20.0	***	***	***	△ 12.5	***
施工高	10月～12月実績	25.0	***	***	***	***	25.0	***
	1月～3月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	10月～12月実績	△ 15.0	△ 30.0	0.0	16.6	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
	1月～3月予想	△ 12.5	0.0	12.5	△ 33.3	△ 25.0	△ 37.5	0.0
販売価格	10月～12月実績	5.0	0.0	0.0	16.6	0.0	12.5	0.0
	1月～3月予想	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
仕入価格	10月～12月実績	22.5	20.0	12.5	16.6	50.0	37.5	0.0
	1月～3月予想	15.0	10.0	12.5	0.0	25.0	25.0	25.0
在庫	10月～12月実績	0.0	△ 10.0	0.0	0.0	***	0.0	25.0
	1月～3月予想	△ 2.8	△ 10.0	0.0	0.0	***	0.0	0.0
資金繰り	10月～12月実績	△ 5.0	△ 10.0	△ 12.5	16.6	△ 25.0	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 5.0	△ 10.0	△ 12.5	16.6	0.0	△ 12.5	0.0
残業時間	10月～12月実績	△ 12.5	△ 30.0	△ 12.5	16.6	0.0	△ 25.0	0.0
	1月～3月予想	△ 23.1	△ 20.0	△ 25.0	△ 16.6	0.0	△ 57.1	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 10.0	△ 10.0	0.0	△ 16.6	0.0	△ 25.0	0.0
	1月～3月予想	△ 17.5	△ 10.0	△ 12.5	△ 16.6	0.0	△ 50.0	0.0

県内大型小売店販売額

令和元年6月の大型小売店販売額は80億円で、前年同月比2.4ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比6.5ポイント下降、飲食料品が0.3ポイント下降、その他の商品が1.6ポイント下降となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前:経済産業省)

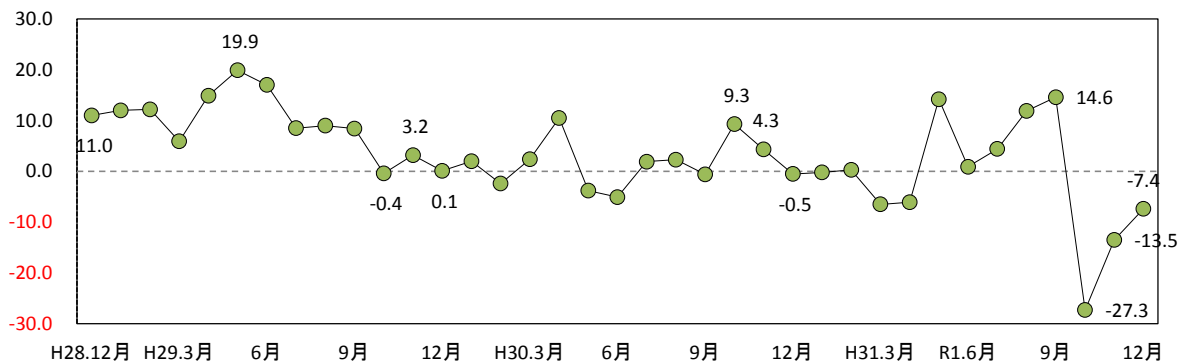


県内新車販売台数

令和元年12月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は3,724台で前年同月を7.4%下回りました。車種別では、普通乗用車が890台で前年同月比3.8%減、小型乗用車が718台で前年同月比24.1%減となりました。また、軽四輪車の合計は1,859台で前年同月比2.2%増となりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

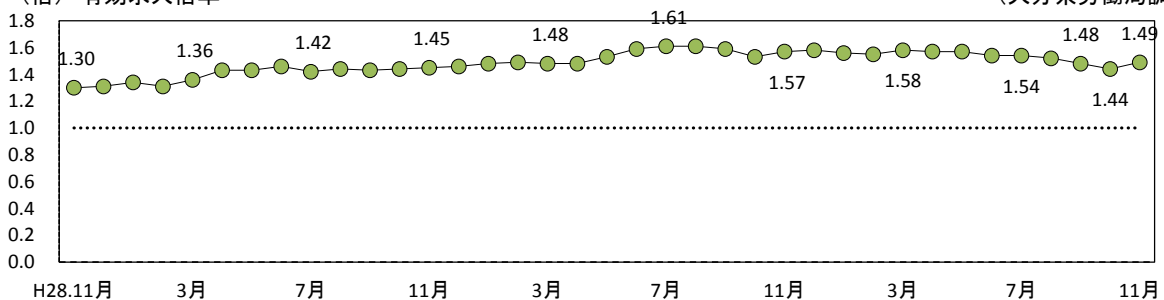


県内有効求人倍率

令和元年11月の有効求人倍率は、前月を0.05ポイント上回る1.49倍となりました。地域別でみると、大分管内1.75倍(前月比+0.07ポイント)、別府管内1.22倍(前月比+0.02ポイント)、中津管内1.62倍(前月比+0.10ポイント)と高水準を維持しております。

(倍) 有効求人倍率

(大分県労働局調)

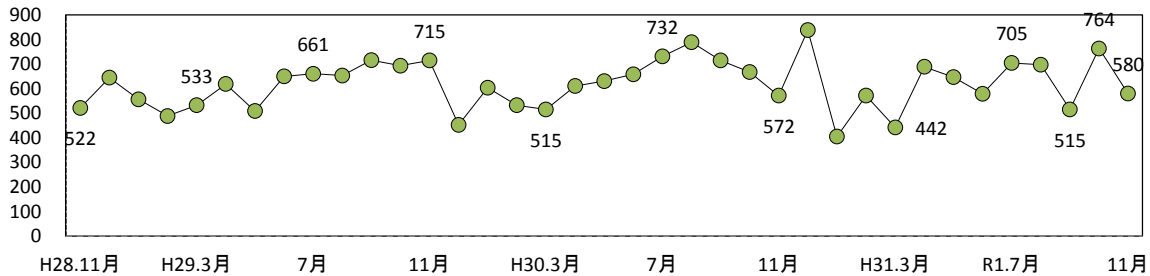


県内新設住宅着工戸数

令和元年11月の住宅着工戸数は580戸でした。そのうち、持家は252戸、貸家は202戸、分譲住宅は105戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



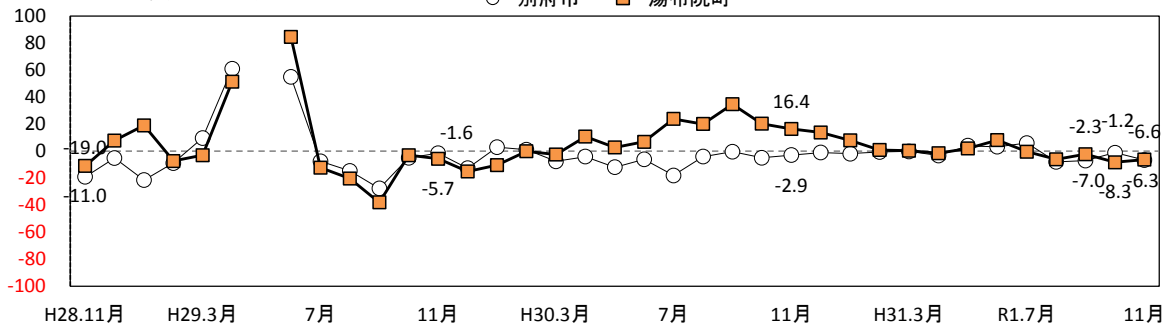
観光動向

令和元年11月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で6.6ポイントの下降、湯布院地区で6.3ポイントの下降となりました。
※宿泊人員(前年同月比)の折れ線グラフでは、29年5月のデータを省略しております(28年5月は震災の影響により宿泊人員が大幅に落ち込んだため)。令和元年11月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区93.4%、湯布院地区93.7%となっております。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○別府市 ■湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、令和元年12月の県内の企業倒産件数は4件で1,163百万円でした。令和元年の累計は49件7,833百万円となっています。

(百万円) 企業倒産

金額 件数

(東京商工リサーチ大分支店調) (件数)

